## 熱性けいれんに関する主治医指示書

患者氏名_							
上記の患者様は	を	を熱性痙攣予防目的に使用することが					
望ましいと判断	折します	0					
《使用方法》	坐薬	(用量	mg)		個を、	発熱	℃の時、
肛門内に挿入し						) <b>-</b> /	
《使用期限》							
年	月	日~	年	月	日		
《注意事項》							
			医療機関	名	年	月	日
		主治医名					<b>(F)</b>
		以	下は保護者詞	記入欄			
		坐薬	延使用 (	<b>衣頼</b>	書		
上記のように、		₹	を保育園で	使用し	していただ	ごきたく、	依頼します。
					年	月	日
			保部	<b>養者名</b>			ED